

# 食物アレルギーに関する研修・訓練の実施について



平成31年3月

調布市食に関する検討委員会

調布市教育委員会教育部指導室・学務課

## 1 本資料の目的について

- (1) 教職員が食物アレルギーに関する意識の向上と知識・技能の習得を図るため、教育委員会から統一した研修内容を提示し、各学校が実態に合わせて実施することで事故の再発防止につなげる。
- (2) 教職員がそれぞれの役割を理解し、エピペン®の正しい取り扱いを含め、緊急時に適切に行動できるよう、繰り返し訓練を実施することで、組織的な対応力の向上に努める。

## 2 これまでの経緯について

平成26年度より、調布市教育委員会は、学務課と指導室が共催で「食に関する検討委員会」を発足し、調布市立学校における食物アレルギーに関する指導や対応について、定期的に検討・協議することにした。

教員、養護教諭、栄養士等を委員とし、専門医・管理栄養士の助言の下、指導内容や給食ルール等、できる限り市内統一して実施した方が望ましい内容について、学校現場の声を基本に検証・検討に取り組み、平成29年度は、主に、小学校での指導内容と各学校で実施する研修・訓練について検討を進め、本資料を作成した。

平成30年度は、本資料を使用した研修・訓練を実施し、その結果に基づき、各学校の実態を踏まえつつ、より統一的・実践的な内容で行えるよう検証し、改訂を行った。

## 3 本資料の構成について

本資料は、必要最低限の項目を精選し、2ページの「5 校内研修 (1)ア～ウ」は1学期の給食開始までに、「5 校内研修(1)エ」及び3ページの「6 校内訓練」は可能な限り早い時期に実施できるよう、とりまとめた。

また、研修・訓練で使用する資料として、4～7ページに「配布用レジュメ 参考例」及び「訓練シナリオ・記入例」、実施時に活用できる参考資料・媒体等を8～10ページに掲載した。

11～13ページの「理解確認シート」（解答・解説）は、研修受講後の理解度の確認や、研修欠席者の自己チェックに使用できるよう、作成した資料である。

## 4 取り扱いについて

研修・訓練の所要時間や実施回数等は、各校の実態に合わせて調整のうえ、**研修・訓練計画として、食物アレルギー対応委員会で作成・決定**し、必要な資料はあらかじめ教育計画に格納し、教職員全員が共有する。

## 5 校内研修

(1) 1学期【4月当初 給食開始まで】

※会の流れ P. 4 <研修・訓練レジュメ参考例>参照

ア はじめに……………校長より

◆：紙資料，◇：媒体

項目・内容	活用できる資料・媒体
○事故の概要 <input type="checkbox"/> 取組の経緯(事故検証・再発防止検討)，基本方針 <input type="checkbox"/> 各教職員の役割について <input type="checkbox"/> 校内研修・校内訓練の意義について <input type="checkbox"/> ヒヤリ・ハットの取組について，情報共有レポート配布	◆市立学校食物アレルギー対応マニュアル ◆事故検証結果報告書 ◆再発防止検討結果報告書 ◆情報共有レポート（資1-4-2）

イ 食物アレルギー児童・生徒の確認……………栄養士（養護教諭）より

項目・内容	活用できる資料・媒体
○在籍児童・生徒の状況 <input type="checkbox"/> 対応児童・生徒一覧表の配布	◆対応児童・生徒一覧表（様2-2-13・14）

ウ 給食対応について……………栄養士（養護教諭）より

項目・内容	活用できる資料・媒体
○市立学校共通の対応 <input type="checkbox"/> 使用禁止食材 <input type="checkbox"/> トレイ・食器の色分け【小学校】 <input type="checkbox"/> 配膳の順番【小学校】 <input type="checkbox"/> おかわり禁止【小学校】	◆市立学校食物アレルギー対応マニュアル ◆アレルギー疾患のある児童・生徒への対応について(様2-2-2・3) ◆学校生活管理指導表(アレルギー疾患用)について(様2-8-2)
○各学校における1日の流れ <input type="checkbox"/> 朝の確認(当日対応の確認) <input type="checkbox"/> 持参品の取扱 <input type="checkbox"/> 対応食の提供や受渡し方法【小学校】 <input type="checkbox"/> 喫食前の確認(児童・生徒，担任，その他) ＊「対応献立表」「対応カード」「対応食」の3つの内容が同じか必ず照合【小学校】 <input type="checkbox"/> 対応カードの回収【小学校】 <input type="checkbox"/> 担任不在時について	◇トレイ，食器の実物 ◆食物アレルギー対応献立表(様2-1-5) ◆食物アレルギー対応カード(様2-1-6) ◆詳細献立表(資2-2-16) ◆各校で作成している給食対応資料 ◆補教カード等 担任不在時の資料
○必要品の保管場所	

エ 食物アレルギーについて……………医師，養護教諭，校長・副校長より

項目・内容	活用できる資料・媒体
○疾患の基礎 <input type="checkbox"/> 食物アレルギーの原因・症状 <input type="checkbox"/> アナフィラキシー	◇慈恵会医科大学第三病院制作DVD「アレルギーとアナフィラキシー～学校・園での対応～」
○緊急時対応 <input type="checkbox"/> 緊急時個別対応カード <input type="checkbox"/> エピペン®の使い方 <input type="checkbox"/> アレルギー対応ホットライン <input type="checkbox"/> 緊急対応用携帯電話の使い方 <input type="checkbox"/> アナフィラキシー発症時の対応・役割分担	◇緊急対応ファイル ◆東京都食物アレルギー緊急時対応マニュアル ◆食物アレルギー・アナフィラキシー発症時の対応・分担モデル(資料3-5-1)
○必要品の保管場所 <input type="checkbox"/> 食物アレルギー対応献立表・詳細献立表 <input type="checkbox"/> 緊急対応ファイル <input type="checkbox"/> エピペン®・内服薬(ランドセル・鞆の位置) <input type="checkbox"/> AED，門の鍵等	※P. 8～ <資料・媒体><理解確認シート>参照
○理解度の確認	

(2) 2学期【始業式前等 適時】

1学期の振り返り……校長・副校長より

◆：紙資料, ◇：媒体

項目・内容	活用できる資料・媒体
<input type="checkbox"/> 1学期の振り返り <input type="checkbox"/> 学校管理職研修会の内容説明 <input type="checkbox"/> 喫食前の確認（児童・担任・その他） ＊「対応献立表」「対応カード」「対応食」の3つの内容が同じか必ず照合【小学校】 <input type="checkbox"/> ヒヤリ・ハット事例, 情報共有レポートの配布	◆学校管理職研修会資料 ◆食物アレルギー対応献立表(様 2-1-5) ◆食物アレルギー対応カード(様 2-1-6) ◆情報共有レポート（学務課配布資料） ◆学校における食物アレルギー対応ヒヤリ・ハット, ヒント事例集（東京都） ◆各校で作成している資料

## 6 校内訓練

(1) 目的・留意点

ア 訓練の目的

校内で実施するシミュレーション訓練は、教職員一人一人が、緊急時の役割に応じた行動を確認し、繰り返し訓練を行うことにより、習熟することを目的に実施する。

イ 留意点

- ・エピペン®所持の場合、新規発症の場合等を想定して実施する。
- ・時間を計測し、役割毎の対応を理解し、迅速に行動できたか習熟の程度を確認する。
- ・1学期の訓練が給食開始後の場合は4月当初の研修で緊急時対応や必要品の保管場所等を確認する。

(2) シミュレーション訓練【1学期・2学期 それぞれ可能な限り早い時期】

※P. 5<研修・訓練レジュメ参考例> P. 6, 7<訓練シナリオ・記入例>参照

ア 項目・内容

項目・内容	活用できる資料・媒体
<input type="checkbox"/> 事前打合せ <input type="checkbox"/> 訓練目的の確認 <input type="checkbox"/> 訓練内容・役割分担等の確認 <input type="checkbox"/> 必要品の保管場所等の確認	◇訓練シナリオデータ（P. 6, 7） ◇エピペン®トレーナー ◆各校で作成している資料
<input type="checkbox"/> 訓練実施 <input type="checkbox"/> 役割分担に基づくシミュレーション実施 <input type="checkbox"/> 所要時間の計時	
<input type="checkbox"/> 振り返り・意見交換	

イ ポイント

- ・児童生徒の異変に気づく。（または訴えを聞く）
- ・発見者は、その場を離れず応援要請をする。
- ・児童観察, 役割分担指示, 連絡等, 実際の動きを想定して行う。

ウ 事前に確認しておくこと

- ・エピペン®の保管場所, 使い方
- ・緊急対応ファイル（教室用）の保管場所
- ・緊急対応用携帯電話, アレルギー対応ホットラインの使い方
- ・（新規発症等の場合を想定して）緊急連絡票など保護者の連絡先が記載された書類の保管場所
- ・救急車の呼び方（受け答えの基本, 学校の住所, 目印など）
- ・AEDの保管場所
- ・教職員へ集合を呼びかける校内放送のキーワード

## 年度初めのアレルギー研修 【4月当初】

- ・はじめに 校長より  
事故の概要 アレルギー研修の意義など
- ・食物アレルギー児童・生徒確認 : 栄養士（養護教諭）  
除去食対応児童生徒の一覧表
- ・給食対応について : 栄養士（養護教諭）  
給食全般についてのルール  
ピンクトレイ及びブルートレイの説明
- ・アレルギーについて : 医師・養護教諭・副校長  
アレルギーの研修  
DVDやパンフレットを活用

### ・その他

#### ・環境確認

**教室**: 携帯電話, アレルギー緊急対応ファイル, エピペン®

**校内**: A E D, 門の鍵等

- ・エピペン投与実習
- ・救急車要請のしかた
- ・携帯電話の使い方
- ・ホットラインについて

\*アレルギー研修とシミュレーション訓練を合わせて行うことも可能だが、それぞれの内容の充実を図った上で実施する。

## シミュレーション訓練 【4月・2学期】

- ・エピペン®所持の場合・新規発症の場合を想定して実施しておくといよい。  
その他の詳細な設定は各校で行う。
- ・この訓練の目的は、緊急時の職員の動きの確認とする。  
エピペン®を打つ判断をすることを目的としない。
- ・同じ内容でも、繰り返し訓練を行うことにより、動きを体で覚える。  
※救命訓練と同様

### 大まかなポイント

- ①児童生徒の異変に気づく。(または訴えを聞く)
- ②発見者または訴えを聞いた者は、その場を離れず応援要請をする。
- ③児童観察、役割分担指示、連絡、等、実際の動きを想定して行う。

### 確認しておくこと

- ①エピペン®の保管場所
- ②エピペン®の使い方
- ③教室用緊急対応ファイル（赤ファイル）の保管場所
- ④携帯電話の使い方
- ⑤ホットラインの使用
- ⑥（新規発症等の場合を想定して）緊急連絡票など保護者の連絡先がわかる書類の保管場所
- ⑦救急車の呼び方（受け答えの基本、学校の住所、目印など）
- ⑧AEDの保管場所
- ⑨職員集合を呼びかける放送のキーワード

※ 実際の計画のフォーマットは別紙参照

【注意】シミュレーション訓練が給食開始以降設定されている場合は、4月当初の研修にて必要な環境（教室及び校内）確認をしておく。

# シミュレーション訓練シナリオ

目的：緊急時の職員の動きを確認する。反復して実施することにより、原則の動きを身につける。

想定：

年 組 男子・女子 アナフィラキシー既往 あり・なし エピペン処方 あり・なし  
 アレルギー原因食物：  
 アナフィラキシー原因食物：

児童・生徒の様子	児童・生徒， 職員の動き *準備	教職員の動向等
発症時点 <児童等の症状> ○ ○	*エピペントレーナーを児童等のロッカーへ入れておく。  児童等：  担任：安全な場所へ移動ショック体位 ⇒ 症状確認 他の児童等や職員で応援要請	①担任が，児童等の異変に気付く。 ②職員室・保健室に応援要請をする。  ③報告を受け，副校長は緊急放送をする。  「訓練訓練。 に集まって下さい。」
<児童等の症状> ○ 発症から5分後： <b>緊急性</b> 緊急性の高いアレルギー症状があらわれる。 <児童等の症状> ○ ○ ○ ○ ○ <b>エピペン接種</b>  回復の兆し	⇒ 養護，教職員がくる。※ショック体位 児童等：  児童等：  ⇒ エピペン注射 児童等：エピペンを注射する時，いやと拒否をし，上半身を起こそうとする。 ⇒ エピペン注射終了！ 児童等：少しずつ回復しはじめる  職員：(救急隊案内) 救急隊到着しました！	④校長，副校長は 年 組に到着 養護・他教職員到着⇒児童等観察 ⑤校長：緊急性があるので緊急対応です！ 役割分担を指示する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         役割分担を同時に行う                     </div> 内服・エピペン準備 周囲の児童等誘導 詳細の記録 保護者連絡 ホットライン 救急車要請 119 エピペン注射 心臓マッサージ AED準備と処置 児童等観察 エピペン介助 *役割分担は「食物アレルギー緊急時対応マニュアル 東京都」を使用する場合もある
<b>救急隊引き渡し</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">                         ここで終了！                     </div>	詳細の記録： <b>救急隊に説明</b>  エピペン注射： <b>救急車に同乗</b>
<b>救急車搬送</b>		⑥副校長は教育委員会へ一報を入れる。

# シミュレーション訓練 シナリオ記入例

目的：緊急時の職員の動きを確認する。反復して実施することにより、原則の動きを身につける。

想定：給食 12:55頃 教室

1年 1組 男子・女子 アナフィラキシー既往 **あり**・なし エピペン処方 **あり**・なし

アレルギー原因食物：牛乳・乳製品、小麦、卵、ピーナッツ、クルミ、アーモンド、カシューナッツ

アナフィラキシー原因食物：小麦

児童・生徒の様子	児童・生徒、職員の動き *準備	教職員の動向等
発症時点  <児童等の症状>  ○口の中が痛い！ ○のどが痛い！	*エピペントレーナーを児童等のロッカーへ入れておく。  児童等：口の中が痛い！ のどが痛い！  担任：安全な場所へ移動ショック体位 ⇒ 症状確認 他の児童等や職員で応援要請	①担任が、児童等の異変に気付く。 ②職員室・保健室に応援要請をする。  ③報告を受け、副校長は緊急放送をする。  「訓練訓練。赤ファイルと携帯電話をもって、1年1組に集まって下さい。」
発症から5分後： <b>緊急性</b> 緊急性の高いアレルギー症状があらわれる。 <児童等の症状> ○じんましん ○ぐったり ○腹痛 ○強い咳込み ○のどや胸がしめつけられる ○嘔吐  <b>エピペン接種</b>  回復の兆し	⇒ 養護、教職員がくる。 *ショック体位 足を少し高くあげる 15~30cm *嘔吐がある場合は顔と体を横にむける 児童等：しばらく、口の中の痛みを訴えたり咳をしたりする。 お腹の痛みを訴える。 顔や全身のかゆみを訴え、かきはじめる。  児童等：強い咳込み、上半身を上げてぐったりしはじめる。  ⇒ エピペン注射 児童等：エピペンを注射する時、いやと拒否をし、上半身を起こそうとする。 ⇒ エピペン注射終了！ 児童等：少しずつ回復しはじめる  職員：(救急隊案内) 救急隊到着しました！	④校長、副校長は1年1組に到着 養護・他教職員到着⇒児童等観察 ⑤校長：緊急性があるので緊急対応です！ 役割分担を指示する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         役割分担を同時に行う                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         内服・エピペン準備                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         周囲の児童等誘導                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         詳細の記録                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         保護者連絡                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         ホットライン                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         救急車要請 119                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         エピペン注射                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         心臓マッサージ                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         AED 準備と処置                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         児童等観察                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                         エピペン介助                     </div> *役割分担は「食物アレルギー緊急時対応マニュアル 東京都」を使用する場合もある
<b>救急隊引き渡し</b>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         ここで終了！                     </div>	詳細の記録： <b>救急隊に説明</b>  エピペン注射： <b>救急車に同乗</b>
<b>救急車搬送</b>		⑥副校長は教育委員会へ一報を入れる。